

ご説明資料

令和6年8月
国土交通省鉄道局

1. 長崎市の西九州新幹線開業効果

最大の効果は、まちづくり効果 「100年に一度のまちづくり」

■長崎駅周辺の再整備

- ・ 商業スペースが急拡大
- ・ 駅前広場の賑わい創出と交通結節機能強化



■出島メッセ長崎（交流拠点施設）開業

- ・ 世界規模の会議の誘致・開催が実現
- ・ 令和5年度MICE参加人数 約**140万人**



■外資系高級ホテルが続々と進出



■長崎スタジアムシティ開業（本年10月14日開業）

- ・ サッカースタジアムを中心にアリーナ・ホテル・商業施設・オフィス等の複合施設を民間主導で開発
- ・ 開業後の経済波及効果 約**963億円**
- ・ 年間想定利用者数 約**850万人**



※イメージは今後デザイン含め変更の可能性があります。

提供：ジャパネットホールディングス

<西九州新幹線開業に伴うまちづくり効果>

SAKURA MIRAI SHIN-ŌMURA (サクラミライ新大村)【完成予想図】

成約戸数 155戸突破/191戸
155戸のうち市外の成約者約4割



1日の来店者数 2千人超



オープン日(3月7日)の来店者数は千人超
全国の無印良品店で第3位



【提供】
大和ハウス工業(株)
(株)日本エスコン
(株)イズミ

- ・分譲マンション R6.秋完成予定
- ・新大村駅公園 R7.春供用開始予定

嬉野温泉駅・西九州新幹線開業の最大の効果＝「まちづくり効果」



観光・ビジネスの基点



カフェとショップの複合店の出店



トリップベース道の駅プロジェクト
フェアフィールド・バイ・マリオット・嬉野温泉

宿泊特化型ホテルの開業



飲食店の出店



地域中核病院の移転



温泉街に宿泊施設の開業



■ 新幹線を契機としたまちづくり (熊本駅の例)

新幹線開業前後で新しく建設されたプロジェクト

令和6年7月30日 与党九州新幹線(西九州ルート)検討委員会資料(JR九州)



合同庁舎等立地により
昼間人口が
約**4,000人**増加

マンション等立地により
夜間人口が
約**800人**増加

① JR熊本駅ビル
(アミュープラザ・ホテル)



② JR熊本白川ビル
(ビックカメラ・オフィス)



③ 肥後よかモン市場
(物販・飲食・サービス・観光案内所)



④ JR熊本春日南ビル
(飲食・サービス・オフィス)



⑤ JR熊本春日北ビル
(商業・クリニック・オフィス)



⑥ MJR熊本ザ・タワー



⑦ MJR熊本駅ガーデンコート



⑧ RJRプレシア 熊本駅前



⑨ 熊本合同庁舎



⑩ 熊本森都心プラザ



※写真の一部は熊本市HP、
熊本県HPより抜粋